

学校教育の重点

(子ども像) 伝統と文化を受け継ぎ、次代と自らの未来を切り拓く子ども
(教職員像) 確かなビジョンと力量を持つ教職員
(学 校 像) 市民ぐるみ・地域ぐるみの教育の核となる学校

<学校教育の基本方針>

～ 確かな学力・豊かな心・健やかな体の調和のとれた育成 ～

(平成26年度重点項目)

- つきたい力を明確にした「言語活動」
- 自律心と責任感の育成を目指した「協働活動」

学校教育目標

自分から(主体性)、自分で(自立)、自分らしく(自己の確立)、
みんなとともに(社会性・協働性)、生きる子どもの育成

<目指す子ども像>

○挨拶をする子 ○掃除をする子 ○時間を守る子
「楽しさを期待して登校し、楽しさを感じながら学校で生活し、楽しさに満足して下校する」

<目指す職員像>

「時を守り、場を正し、礼を尽くす」
<5S(整理・整頓・清掃・清潔・習慣)の実践>

- ①教育公務員としての自覚を持ち、市民から信頼を得る職員
- ②専門職の自覚と向上心を持ち、資質と専門性、指導力の向上を目指す職員
- ③整理整頓をし、児童生徒が安全安心に過ごせる学習環境を設定できる職員
- ④人権・安全を基盤に、よき支援者・モデルとして児童生徒・保護者から信頼を得る職員
- ⑤それぞれのポジションワークの中で、同僚から信頼を得る職員

<目指す学校像>

「ノーマライゼーションの具現化に向けて、総合育成支援教育をリードする学校」

- ①地域とともに歩む学校
- ②高い専門性を持ち、市民・保護者に信頼される学校
- ③児童生徒が安心して生きる力を育む、安全で楽しい学校
- ④鋭い人権感覚に基づき、一人一人の子どもが大切にされる学校
- ⑤組織的運営と効率的運営に取り組む学校

総合支援学校

障害種別による
【場】の教育を超える

総合育成支援教育相談センター

学校という【場】の教育を超える

地域支援ネットワーク

小学校、中学校、高等学校等という学校の
【場】を超える

センター機能と地域支援システムの融合

(総合支援学校総体がセンター機能)

ライフスタイルやライフステージの
変化に応じた継続的なサービスの提供

個別の包括支援プランの活用

総合支援学校

【マネジメント部門】
学校経営システムの充実
【ティーチング部門】
指導実践の充実
専門性の向上

育支援センター

【コーディネート部門】
地域支援システムの充実
ネットワークの構築
(行政的機能の付加)
学校サポートチーム

【サポート部門】

校内実践・地域支援・機関連携の充実
専門性の向上

地域社会の中で
自分らしく生きる

地域にねざした文化と伝統の創造

<総務部活動方針>

- 学校経営の課題を分析し、その結果を具体的な活動として計画する。
- 日常の安全管理、危機管理、地域啓発、年間計画等、学校運営の基盤となる事項を管理する。

<指導部活動方針>

- 子どもの「生きる力」と生涯にわたる支援を目指した、個別の包括支援プランに基づく教育を推進する。
- 一人一人の社会参加・自立を目指した教育課程の実践と評価を行う。

<支援部活動方針>

- 校内及び地域の学校(園)における、一人一人の子どもの教育的ニーズに応じた指導を支援する。
- 地域における相談センターとしての機能の充実を図るとともに、各関係機関と連携し、一人一人の子どもの地域での生活基盤づくりを支援する。

学部目標 → 学年目標 → 学級目標

